



広 報

2025年

5

月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 前原直之



※豊島区薬剤師会総会のお知らせ

日時：令和7年6月24日（火） 20:45～21:30（予定）

場所：豊島区薬業会館

ご出席または委任状が議決権行使書の提出をお願いいたします。

また都薬代議員・予備代議員選挙の投票も同時に行いますのでよろしくお願い申し上げます。

※地区研修会のお知らせ

令和7年8月23日（土）に、地区研修会を開催する予定です。

詳細は追ってお知らせいたしますが、管理薬剤師の先生はご参加ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 「令和6年度・医薬品計画的試験結果の集計報告」について

東京都薬剤師会衛生試験所では、薬機法関連法令に基づき薬局製剤を製造販売する薬局と試験所利用契約を結び、製造・調剤・保存・販売する医薬品の検査を、年に一度、計画的に実施しています。この度、「令和6年度医薬品計画的試験結果の集計報告」が纏まりましたので、ご報告申し上げます。

概要：薬局製剤として提出された48種類90検体のうち、漢方製剤では処方生薬の含量不足が1検体、内服薬では含量不足2検体、含量不足で黒色の異物を認めた1検体及び黒色の異物を認めた1検体、外用薬では含量不足2検体、含量過多1検体及び芳香を示さない1検体の合計9検体が基準に合致しないとして不適合と判定しました。

これらを製造した薬局には速やかに結果を報告するとともに、その処方・規格の確認及び製造記録の再確認を依頼し、一方、これら不適合製剤の販売は中止していただいています。

2) 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」及び紹介ポスターについて

「重篤副作用疾患別対応マニュアル」は、平成17年度から、重篤度等から判断して必要性の高いと考えられる副作用について、患者及び臨床現場の医師、薬剤師等が活用する治療法、判別法等を包括的にまとめたものとして作成開始されました。

今般、「薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎」「ネフローゼ症候群」「血管炎による腎障害」に関して「重篤副作用疾患別対応マニュアル」を改定し、さらに「高血糖及び低血糖」の紹介ポスターを作成し、厚生労働省ホームページに掲載されました。

服薬指導時にこれら資料を活用していただき、さらに、薬局待合室等に紹介ポスターを掲示することにより、周知にご協力ください。

○厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iyakuhin/topics/tp061122-1.html

○独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/adr-info/manuals-for-hc-pro/0001.html>

3) 「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第32回報告書」について

令和6年7月から同年12月までに報告されたヒヤリ・ハット事例を収集し分析を行った「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第32回報告書」が公表されました。本報告書を通じてヒヤリ・ハットの要因や傾向等を把握し、医療安全の推進及び医療事故の防止に一層取り組まれるようお願いいたします。

○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第32回報告書 (2024年7~12月)

https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/report_32.pdf

4) 医療事故情報収集等事業「医療安全情報 No. 221」の提供について

日本医療機能評価機構より、「医療安全情報 No. 221」が公表されました。

医療事故情報収集等事業において収集した情報のうち特に周知すべき情報を取りまとめられました。医療事故の発生予防、再発防止のためにご活用ください。

○日本医療機能評価機構ホームページ > 医療安全情報 No. 221

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_221.pdf



5) 令和7年度 基準薬局中央研修会のお知らせ

開催日時：令和7年7月13日（日） 10:00~13:30（開場9:15）

開催方法：集合研修（会場受講）及びオンライン研修（Web 受講：ライブ配信）

場 所：帝京平成大学 中野キャンパス（中野区中野4-21-2）

定 員：集合研修200名（注：定員に達し次第募集終了）※オンライン研修は制限なし

受講料：6,000円 会員2,000円（申込時にカード決済）

申込方法：東京都薬剤師会ホームページ「お知らせ」よりWeb 申込み

申込期間：令和7年6月10日（火）10:00 から令和7年6月24日（火）

ただし、集合研修は定員（200名）になり次第締め切となります。

単位認定：東京都薬剤師会 生涯研修認定制度2単位（予定）

※受講料決済後のキャンセルは返金されません。

※事前申込制のため、当日の申込みはありません。

※当研修会は、東京都薬剤師会認定基準薬局の認定のための研修会の1つになっています。

6) 日本薬剤師会雑誌の完全電子化に向けた紙冊子郵送希望の受付開始日について

既にご案内いたしました通り、「日本薬剤師会雑誌」の完全電子化に向け、この4月より本誌のデジタルコンテンツを配信する「日薬雑誌アプリ」の運用が開始されました。日本薬剤師会ホームページ（会員向けページ）でこれまで閲覧が可能でありました「日薬雑誌電子書籍」も継続しており、誌面の印刷も可能になりました。

また、紙の冊子については、本年10月号より会員全員の皆さまへの郵送を原則終了し、令和8年3

月号の発送をもって完全に終了すること、10月号より翌年3月号まで紙の冊子の郵送を希望する会員からのお申し込みを、7月頃より受け付ける準備を進めていることを併せてお知らせしておりました。

この度、予定を1か月早め、当該お申し込みを6月2日(月)より日本薬剤師会ホームページ(会員向けページ)にて受け付ける準備が整いましたのでお知らせいたします。



詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年5月資料
https://drive.google.com/file/d/1FTlgH54uNrpNwnA5eo6bGkcYQAdAr8oN/view?usp=drive_link

7) 「都薬雑誌」電子書籍化について

～紙の雑誌は9月号で終了、7月号より電子書籍版がスタート～

東京都薬剤師会の機関誌は明治22年に誕生し、その後、1979年には都薬と会員の皆様を結ぶ大動脈として前身の「東京都薬剤師会誌」から「都薬雑誌」へと生まれ変わり、今まで会員の皆様にご愛読をいただいておりますが、本年7月からは電子書籍へとさらに進化します。

電子書籍化により、「都薬雑誌」はお手持ちのスマートフォンやタブレット端末などを通して、いつでもどこでもお読みいただけるようになり、より一層会員の皆様の身近な雑誌になります。

つきましては、電子書籍化に伴うアプリの導入が必要になりますのでご対応よろしく願いいたします。

※電子書籍化に伴い、使用するアプリは日本薬剤師会と同様の「Poste」を予定しております。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年5月資料
https://drive.google.com/file/d/1SdS-dMOHyETZFkavoWRAlisNgpURspoG/view?usp=drive_link

8) 令和7年度東京都薬局物価高騰緊急対策支援金の概要について

東京都では、物価高騰に直面する薬局の負担軽減に向けた緊急対策として、支援金を支給することとなりました。

1. 交付対象事業者

都内に開設している薬局。ただし、健康保険法第63条第3項第1号に定める保険薬局に限る。

2. 交付対象期間

令和7年4月1日から令和7年9月30日までとする。

3. 支援金額

対象薬局ごとに78,000円(光熱費として)とする。

※支援金は、都の予算の範囲内において交付する。

4. スケジュール(予定)

(1) J グランツ申請

令和7年9月上旬頃	支援金関連要綱及び様式の公表
令和7年10月上旬頃	J グランツによる交付申請兼実績報告受付開始
令和7年10月下旬頃	J グランツによる交付申請兼実績報告受付締切
令和7年11月下旬～	交付決定及び額の確定
令和7年12月～	支援金の支給

(2) 書面申請

令和7年9月上旬頃	支援金関連要綱及び様式の公表・事前受付開始(特設サイトによる)
令和7年9月下旬頃	特設サイトによる事前受付締切
令和7年10月下旬頃	郵送による交付申請兼実績報告の受付締切
令和7年11月下旬～	交付決定及び額の確定
令和7年12月～	支援金の支給

5. その他

(1) 支援金に関する要綱及び各種様式については別途通知します。

(2) 申請手続に当たってはデジタル庁が運営する補助金申請システム jGrants(J グランツ)を活用いたします。J グランツの活用により、いつでも・どこでも補助金申請を行うことが可能となり、交通費・郵送費等のコスト削減や、過去に申請した情報の入力や書類への押印が不要になるなど、事業者の皆様における手間やコスト削減に繋がります。

J グランツでの申請には、G ビズ ID(gBizID プライム)の取得が必要となりますので、未取得の場合は下記 URL よりご準備いただきますようお願いいたします(取得に 2～3 週間ほどかかります。)

薬局については、法人単位で申請を受け付けますので、gBizID プライムは、法人の代表者で取得してください。

J グランツの G ビズ ID 申請はこちら：<https://gbiz-id.go.jp/top/>

書面での申請も可能ですが、この機会に J グランツにご登録いただき本支援金の申請にご活用ください。(今後、他の補助金の申請にご活用いただけます。)

(3) 申請受付の開始時には本事業のコールセンターが設置される予定です。本支援金について、コールセンター設置までの間は、メールでのみ問合せを受け付けます。いただいた問合せにつきましては、個別回答ではなく、別途 Q&A 等によりまとめて回答させていただく予定ですので、ご承知おください。

なお、J グランツに関する問合せについては、都においては回答できないため、G ビズ ID のページに記載されている問合せ先へお問い合わせください。

○保健医療局ホームページ

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou_anzen/yakkyoku-bukka4

【担当】

東京都保健医療局健康安全部薬務課薬務担当

Email: yakkyoku-bukka@section.metro.tokyo.jp

※申請受付の開始時には本事業のコールセンターを設置される予定です。
コールセンター設置までの間は、上記アドレスにお問合せください。



豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 【再掲】高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。別紙、「届いていませんか？」の掲示をお願いいたします。また、該当すると思われる患者へのお声掛けをお願いいたします。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月 10 日までに事務局まで所定の用紙にて報告をいただきますようお願いいたします。

2) 【再掲】豊島区薬剤師会ホームページについて

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行っています。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす（地図またはリストで探せます）

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員退会

山川 正博 (A)	池袋薬局	南池袋2-29-10
福田 哲也 (A)	薬局マツモトキヨシ目白店	目白3-5-15
清水 朱子 (A)	そうごう薬局東池袋店	南池袋2-45-3
稲吉 千穂子 (A)	ことり薬局	池袋2-61-5
田中 明美 (A)	テイケイ調剤薬局	南大塚2-10-1



会員入会

木村 剛 (A)	薬局マツモトキヨシ目白店	目白3-5-15
圓谷 智美 (A)	そうごう薬局東池袋店	南池袋2-45-3
稲吉 千穂子 (A)	ことり薬局	池袋2-61-5
澤邊 陽美 (A)	テイケイ調剤薬局	南大塚2-10-1

会員数報告

A 会員	107 名
B 会員	10 名
賛助会員	2 名
合 計	119 名



保険部より

1) 東京都災害拠点病院の新規指定及び指定解除について

東京都保健医療局より次の通り通知がありました。

次の医療施設について、開設者からの申出を受け、東京都災害拠点連携病院の指定を解除しました。

1. 指定解除施設
医療法人社団玲仁会みやまえ病院（東京都杉並区宮前五丁目18番16号）
2. 指定解除年月日
令和7年3月31日
3. 担当
東京都保健医療局医療政策部救急災害医療課災害医療担当 石田
電話 03-5320-4445（直通）



2) セマグルチド（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（肥満症）の一部改正について

セマグルチド（遺伝子組換え）製剤を肥満症に対して使用する際の留意事項については、「セマグルチド（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（肥満症）の作成について」（令和5年11月21日付け医薬薬審発1121第1号厚生労働省医薬局医薬品審査管理課長通知）により、「最適使用推進ガイドライン」として示してきたところです。今般、新たなセマグルチド（遺伝子組換え）製剤であるウゴービ皮下注 0.25 mgペン1.0MD、同皮下注0.5 mgペン2.0MD、同皮下注1.0 mgペン4.0MD、同皮下注1.7 mgペン6.8MD及び同皮下注2.4 mgペン9.6MDが承認されたこと等を踏まえ、当該最適使用推進ガイドラインを別紙のとおり改正されました。改正後の「最適使用推進ガイドライン」は、別添のとおりです。

肥満症の最適使用推進ガイドラインの改訂箇所（新旧対照表）

（傍線部は改正部分）	
新	旧
1. はじめに （略） 対象となる医薬品：ウゴービ皮下注〔一般名：セマグルチド（遺伝子組換え）〕 （略）	1. はじめに （略） 対象となる医薬品：ウゴービ皮下注 <u>0.25mg SD、同皮下注 0.5mg SD、同皮下注 1.0mg SD、同皮下注 1.7mg SD、同皮下注 2.4mg SD</u> 〔一般名：セマグルチド（遺伝子組換え）〕 （略）
2. 本剤の特徴、作用機序 （略） 本剤は GLP-1 アナログを有効成分として含有する注射剤である。現在、日本では本剤の有効成分であるセマグルチドを含有する週1回皮下投与製剤（オゼンピック皮下注2mg）及び1日1回経口投与製剤（リベルサス錠）が2型糖尿病の治療薬として市販されている。 （略）	2. 本剤の特徴、作用機序 （略） 本剤は GLP-1 アナログを有効成分として含有する注射剤である。現在、日本では本剤の有効成分であるセマグルチドを含有する週1回皮下投与製剤（オゼンピック皮下注2mg <u>及びオゼンピック皮下注SD</u> ）及び1日1回経口投与製剤（リベルサス錠）が2型糖尿病の治療薬として市販されている。 （略）

<別添ガイドライン>

https://drive.google.com/file/d/1DaAvXA8i1okZLiBF-Y2ppvWcjsUEZ4T4/view?usp=drive_link

3) アシミニブ塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について

アシミニブ塩酸塩製剤（販売名：セムブリックス錠20mg、同錠40mg）について、効能又は効果を「前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病」から「慢性骨髄性白血病」に改めるとともに、本剤の用法及び用量を「1回40mgを1日2回」から「1回80mgを1日1回」として承認されました。（医薬薬審発0519第7号 令和7年5月19日）

改訂後	改訂前
【効能又は効果】 慢性骨髄性白血病 【用法及び用量】 通常、成人にはアシミニブとして1回 <u>80 mg</u> を1日 <u>1</u> 回、空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	【効能又は効果】 <u>前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病</u> 【用法及び用量】 通常、成人にはアシミニブとして1回 <u>40 mg</u> を1日 <u>2</u> 回、空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

（下線部は今回の承認事項一部変更承認における変更箇所）

4) オンライン服薬指導に係る都民及び薬局への普及啓発事業の周知について

東京都保健医療局よりオンライン服薬指導に係る都民及び薬局への普及啓発事業について周知依頼が参りました。つきましては、下記の東京都保健医療局ホームページから都民向け普及啓発動画等をご活用ください。

5) 「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第1弾）」動画のダウンロードサイトについて

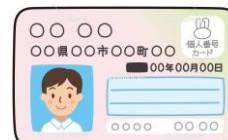
厚生労働省保険局医療介護連携政策課等から次の通りお知らせがありました。

令和6年12月2日から従来の健康保険証が新たに発行されなくなり、その後はマイナ保険証を基本とする仕組みに移行したところですが、今般、さらなるマイナ保険証の利用促進に向け、健康保険組合連合会において、動画広報コンテンツを制作・公開することとしており、当該動画コンテンツのダウンロードサイトが立ち上がりました。

次のURLから申請の上、当該動画をダウンロードいただき、窓口や待合室などにおけるデジタルサイネージ等としてご活用ください。

<申請フォームURL> <https://mainahokensyou.jp/>

<パスワード> 20251202start



6) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について（施行通知）

厚生労働省医薬局長より次のとおり通知がありました。本通知は、令和7年厚生労働省令第60号（令和7年5月16日）をもって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令（平成19年厚生労働省令第14号）が改正されたことに関するものです。

1. 指定薬物の指定

- (1) 新たに指定された物質 次に掲げる1物質について、中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚の作用（当該作用の維持又は強化の作用を含む。）を有する蓋然性が高く、かつ、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあると認められたことから、法第2条第15項に規定する指定薬物として指定した。

エチル-（1-フェニルエチル）-1H-イミダゾール-5-カルボキシレート

- (2) 指定された物質を含む物

- (1)に掲げる物質を含有する物（元来これらの物質を含有する植物を除く。）は指定薬物であり、規制の対象となる。

2. 施行期日 公布の日（令和7年5月16日）から起算して10日を経過した日（令和7年5月26日）から施行する。

7) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用ページを設けております。

URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvjl6An3GWZy3JDSlgLSOTVlwlkDRX>



8)【再掲】保険関係のお問い合わせについて

eST-aidにてご案内しましたが、豊島区薬剤師会ホームページに問合せフォームを作成いたしました。
なお、ご回答にはお時間をいただく場合もありますこと、ご承知おきください。

◆保険関係お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/HClTfHsmiYiJkuHW9>

豊島区薬剤師会ホームページ → 会員専用ページ → 保険部より
会員専用ページに入るにはユーザー名・パスワードが必要です。
会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

6月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和7年6月19日（木）19:45-21:30

場所：情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：【学術講演】『咳嗽喀痰ガイドラインのポイントと吸入薬の吸入指導』

講師：杏林製薬株式会社 学術推進部 浅野恵

【特別講演】『慢性咳嗽治療薬の新展開』

講師：順天堂大学薬学部薬物治療学研究室 特任教授 亀井淳三先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→

「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和7年6月2日（月）9:00～6月16日（月）12:00

☆ご参加を事前申し込み70名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）



2)【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。

情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

5月19日より、Ⅱ期実務実習が始まりました。14薬局、18名の実習生です。

ご指導よろしくお願いいたします。お困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。



地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

6月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

お願い ～輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

6月	日勤 9:00～16:00	事務兼務	準夜 16:00～22:00	事務兼務
1日(日)	よつば薬局 池袋西口店(T)	江村	薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店	南出
7日(土)			ダリヤ大塚台薬局	河添
8日(日)	ことぶき薬局 巣鴨店	黒須	北池薬局(S)	黒須
14日(土)			あかまつ薬局	前原
15日(日)	スリーアイ薬局	北川	マロン薬局 大塚店	南出
21日(土)			ヒバリ薬局(A)	河添
22日(日)	こまごめ薬局	黒須	アイン薬局 池袋駅東口店	黒須
28日(土)			かもめ薬局	江村
29日(日)	デイジー薬局 東池袋店	江村	平和通り保健薬局	佐藤

2) 長崎休日診療所派遣

6月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

6月	1日(日)	長崎調剤薬局
	8日(日)	デイジー薬局東池袋店
	15日(日)	デイジー薬局東池袋店
	22日(日)	長崎調剤薬局
	29日(日)	長崎調剤薬局



3) 医薬品・情報管理センター報告(令和7年4月)

4月

○相談件数

薬局からの処方箋応需	4
患者からの処方箋応需	1
医療用医薬品についての相談	5
医療機関紹介	3
一般用医薬品についての相談	0
その他	3
合計	16

○管理センター売上及び仕入

売上	¥1,996,297
仕入	¥3,324,694

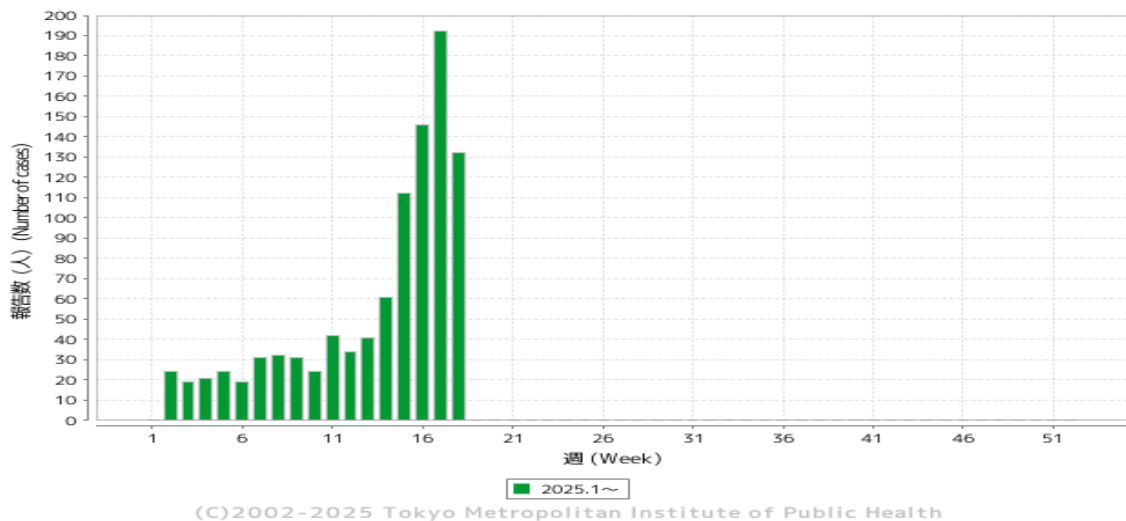
○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	56枚
その他	315枚
合計	371枚

○情報発信2025. 5

百日咳について

東京都感染症情報センターの発表によると 2024 年下半期より百日咳感染の報告数が増加しており、2025 年第 18 週(4 月 28 日～5 月 4 日)は前週より減っているが依然として多くの感染者が報告されている。



百日咳は百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) による感染症で、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染し(飛沫感染・接触感染)、成人ではカタル期(7～10 日程度の潜伏期間を経て風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていく)→痙咳期(短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み痰を出しておさまる)→回復期(激しい咳は徐々におさまるが、時折発作性の咳がみられる)と経過をすることが多い。咳は長期間続くが、比較的軽い症状で経過することが多いので受診・診断の遅れにつながる場合が多く、成人が罹患した場合は症状が典型的ではなくウイルス性の気道炎と診断され感染拡大につながる。

日本では 1950 年から予防接種が開始され、年間 10 万例以上あった報告数は激減したが、近年は乳幼児期のワクチン接種から長期間経過し、抗体価の低下した成人の患者発生が問題になっている。さらに、成人保護者は小児の百日咳発生の感染源としても重要視されている。

2025 年 4 月に生後 1 ヶ月の赤ちゃんが百日咳に感染し、死亡するという報告が国立健康危機管理研究機構より発表された。

機構によると、女兒は咳の症状があり、呼吸状態が悪化して医療機関に入院し、百日咳と診断された。その後転院し、数日後呼吸不全や肺高血圧が進行し、ECMO や透析の処置をしたが亡くなった。女兒は抗菌薬が効きにくいマクロライド耐性百日咳菌に感染しており、海外渡航歴もないことから家族内感染が疑われている。

赤ちゃんは母体からの移行抗体(IgG)では百日咳を防ぐことが出来ず、症状が重症化しやすく命に関わることがある。生後 2 か月を過ぎるまでワクチン接種できないため、周囲の大人や子どもから百日咳にかからないようにすることが赤ちゃんを守るキーとなる。

乳幼児期にワクチン接種をしても百日咳の免疫は時間と共に弱まるため、過去にかかったことがあっても再び感染する可能性がある。そのため、百日咳含有ワクチンの追加接種がとても重要である。

〈推奨される百日咳含有ワクチン追加接種のタイミング〉

- ・ 妊娠 27～36 週ごろの妊婦さんへの DPT ワクチン
- ・ 小学校入学前(MR 二期と同時期)の接種
- ・ 11～13 歳頃のティーンエイジャー世代での DPT 追加接種(DT ワクチンの代わりに)

現在、オーストラリアや欧米諸国で妊娠後期の妊婦に百日咳含有ワクチン(Tdap)を接種することで母体から乳児への移行抗体を増加させ、乳児の重症化を防ぐ「母子免疫ワクチン」が推奨されている。

日本ではTdapは認可・販売されていないので、個人輸入は可能だが、副反応時の対応など課題が多く母子免疫ワクチンは普及していない。

Tdapが使用できない日本国内においては、定期接種として導入されてきた百日咳含有ワクチンのうち、3種混合ワクチンDTap(トリビック®)が添付文書上妊婦への皮下接種が可能であり、厚生労働省研究班により妊婦へのDTap皮下接種の安全性と乳児への百日咳に対する抗体移行が確認されている。Tdapが使用できない国内においては、母子免疫ワクチンを目的とした妊婦への百日咳ワクチン接種の実現可能な代替案としてDTapの活用が考慮される。ただ、現時点では妊婦へのDTap皮下接種による乳児百日咳の重症化予防効果は証明されていないことは留意すべきである。

また、乳児の百日咳感染原の多くが家族や医療従事者であることから、日本環境感染学会では、妊婦や新生児と接触する医療関係者に対し、百日咳含有ワクチン(DTap)の接種を推奨している。

百日咳の流行は一人ひとりの予防行動が小さな命を守る力になることを念頭に置き、日々生活していきたいものである。



[百日咳の流行状況（東京都 2025 年）](#) | [東京都感染症情報センター](#)

[東京都の小児病院におけるマクロライド耐性百日咳菌感染症例の検出](#) | [国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)

[百日咳](#) | [厚生労働省](#)

[日本の予防接種スケジュール](#) | [国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)

文責 水落

4) 薬事日報からの今月の気になるトピック

☆電子お薬手帳を簡単に確認 - 「e薬SCAN」リリース

日本薬剤師会は、薬局・医療機関等において電子版お薬手帳に記録された情報を閲覧できるスマートフォン向け電子お薬手帳簡易ビューワーアプリ「e薬SCAN」をリリースした。同アプリは無料でインストールでき、患者が提示した電子お薬手帳のQRコードを読み取ることで、医療関係者が持つスマホやタブレット端末等のデジタルデバイスでお薬手帳の情報を確認できるのが特徴。電子お薬手帳相互閲覧サービス「e薬Link」のシステムに対応している薬局と電子お薬手帳アプリであれば、患者の同意のもとで電子お薬手帳のデータを確認することができる仕組みがあるが、システム未導入の薬局や在宅等の場合は患者さんから携帯電話を借りて、電子お薬手帳のデータを確認するという方法を取らざるを得なかった。患者さんのQRコードを読み取ることができれば医療関係者が持つスマホやタブレット端末等のデジタルデバイスでお薬手帳の情報を確認できるため、活用していきたい。

共有された患者の電子お薬手帳データは一時的に医療従事者のスマホやタブレットに保持されるが、個別で削除しない場合には7日経過後に自動的に削除される仕様となっている。

現時点でe薬SCANに対応している電子お薬手帳は日薬の「eお薬手帳3.0」に加え、メディカルフロントの「ポケットファーマシー」「ヘルシーパスポート」「キリン堂お薬手帳」、ファーマシフトの「つながる薬局」の五つで、順次対応可能な電子お薬手帳は増える予定。

・公式ホームページ

<https://www.nichiyaku.or.jp/ekuscan/>

・対応している電子お薬手帳一覧（随時更新）

<https://www.nichiyaku.or.jp/ekuscan/list/>

5) 令和7年度「在宅医療での医薬品の品質確保」の実施について

東京都薬剤師会より案内がございました。

地域包括ケアシステムの中で、在宅医療は薬局・薬剤師に求められている重要な業務の一つとなっています。その中で飲み忘れを防止するために一包化した薬を「お薬カレンダー」を使用し服薬方法の改善を行うことは広く行われています。また高齢者や手の不自由な患者等に一包化調剤をすることも、服薬コンプライアンスの向上につながるものです。一包化の可否判断は、インタビューフォーム等の安定性評価の報告などが参考にされていますが、これらは1種類のみを一包化した際の評価であり、複数の薬剤を一包化する場合の可否は判断できない可能性があります。一包化可否の判断材料として実態に即した薬剤の評価を行いその情報を蓄積することは有意義と考えます。昨年度は理事者の薬局の検体で予備試験を行い、その結果薬剤の外観は変色等の劣化が認められたが、高速液体クロマトグラフィーで測定可能な成分含量においては、明らかな変化は認められませんでした。今年度はこの取り組みを会員薬局を対象に「在宅医療での医薬品の品質確保」として実施します。品質劣化に疑義が生じるとされる薬剤を含む一包化剤について本調査にご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 対象薬局：会員の所属する薬局
2. 対象薬剤：品質劣化に疑義が生じるとされる薬剤を含む一包化剤
(但し向精神薬、毒薬、覚せい剤原料及び麻薬は除く)
3. 募集期間：令和7年5月12日～7月31日
4. 参加方法：検体提出票と一包化した薬剤2包(中身は全て同一)及びPTP包装の同一薬剤2個ずつを都薬試験所宛送付
5. 調査方法：一包化調剤に伴い「品質劣化に疑義が生じるとされる薬剤を含む一包化剤」を以下の条件で一定期間保管後、PTP包装と保管後の性状等を比較

【保管条件】

A: お薬カレンダーに入れて1ヵ月間試験室内で保管(ロガーで温度・湿度、照度計でlx測定)

B: 30℃±2℃/65%RH±5%RH/暗所1ヵ月間保管

6. 調査期間：令和7年5月～10月
7. 検査結果の報告：別の結果を個々の薬局に送付する。

【問い合わせ先】

〒101-0054 千代田区神田錦町 1-21 東京都薬剤師会 衛生試験所

Tel: 03-3294-8840 e-mail: kensa@toyaku.or.jp

☆ 『令和7年度「在宅医療での医薬品の品質確保」 検体提出票』を別紙添付します。

6) 令和7年度不正大麻・けし撲滅運動の実施について

東京都保健医療局長より周知依頼がございました。

本年も不正大麻・けしの成長が盛んとなる4月1日から7月31日にかけて、「令和7年度東京都不正大麻・けし撲滅運動実施要領」に基づき、標記運動を実施することになりました。薬務課ホームページで不正大麻・けしに関する情報を提供しておりますのでこちらもご活用ください。

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou/stop/taima>

7) 令和7年度 東京都 HIV 検査・相談月間について

東京都保健医療局より、通知がありました。

東京都では、HIV検査・相談事業の普及・浸透を図ることを目的に、平成19年度より毎年6月の一か月間を「東京都HIV検査・相談月間」と定め、月間中は、HIV検査・相談事業の広報及び普及啓発事業とともに、HIV検査・相談体制を強化しております。

リーフレットの活用など普及啓発にご協力お願い致します。

<https://www.city.toshima.lg.jp/221/kenko/kenko/kansensho/sekansensho/002204.html>

[illegible]

9)【再掲】eST-aidをご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。
会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-STockという各薬局における採用薬の開示および不働医薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不働医薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム (eST-aid)

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

日 時：2025 年 5 月 14 日（水） 午後 8 時 30 分開始 午後 10 時 30 分終了

場 所：豊島区南池袋 3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事
南出常務理事 黒須常務理事 林理事 内山理事 小林理事 北川理事 原田理事
藤平理事 青嶋理事 大澤監事

4 月度理事会議事録に関して出席者全員により承認された。

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他
 - ・ 災害時に各薬局が緊急医療救護所等で災害医療について協力してくれるかどうかを確認するアンケートを取ることが案内された。

協議事項

1. 公益法人制度変更に伴う外部理事、外部監事の件
 - ・ 公益法人制度変更の内容について概要を説明し、次回の理事改選時までには外部理事、外部監事を決めなければならないことが案内された。
2. 令和 7 年度医薬協議会の件
 - ・ 医薬協議会の日程、場所について医師会の理事改選後の決定では遅いので、改選前に決めたいとの意見があり、事前に医師会に打診して、医師会の理事改選前に日程を決めることになった。

審議事項

1. 新会員入会承認の件
新会員入会が承認された。
2. BCP 作成の件
豊島区薬剤師会 BCP について内容、参集場所について変更が必要なので変更案について次回の理事会で審議する。
3. 6 月 21 日東京都薬剤師会通常総会予備代議員出席者の件
江村副会長が予備代議員として出席することが承認された。
4. 豊島区自殺・うつ病の予防対策委員会委員の件
豊島区自殺・うつ病の予防対策委員会委員について、林理事を推薦することが承認された。

5. 令和7年度豊島区在宅医療連携推進会議委員の件
令和7年度豊島区在宅医療連携推進会議委員について、佐野会長と小林理事を推薦することが承認された。
6. 令和7年度豊島区介護認定審査会委員の件
令和7年度豊島区介護認定審査会委員について、佐藤副会長から江村副会長に変更することが承認された。
7. 帝京大学との勤務地選択に関する共同アンケート結果発表の件
詳細が決まってから改めて審議することになった。

豊島区薬剤師会の活動（4月）

4/3（木）	豊島区薬剤師会	地域医療・多職種連携グループミーティング
4/3（木）	豊島区薬剤師会	池袋あうる薬局運営委員会
4/4（金）	豊島区薬剤師会	学術・保険グループミーティング
4/5（土）	東京都薬剤師会	地区・職域薬剤師会会長会
4/9（水）	豊島区薬剤師会	4月度理事会
4/17（木）	豊島区薬剤師会	学術講演会
4/21（月）	豊島区災害医療に関する意見交換会	
4/28（月）	豊島区総合防災システムデモ	
4/28（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務グループミーティング

令和7年度の主な活動予定

- 地区薬剤師研修会
 - 第1回 令和7年8月23日（土） Web実施
 - 第2回 未定
- 薬剤師研修会
 - 第1回 未定
 - 第2回 未定
- 区民公開講座
 - 第1回 令和7年9月21日（日） としまセンタースクエア
 - 第2回 令和7年12月7日（日） としま区民センター（健康展同時開催）
 - 第3回 令和8年2月1日（日） としまセンタースクエア
- 健康展
 - 令和7年12月7日（日） としま区民センター
- 新年会
 - 令和8年1月17日（土） ホテルメトロポリタン池袋



医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにしました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハブ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価(消費税込) / その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回 110 円 (消費税込)
	その他医療機関	1 回 2,200 円 (消費税込)

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。

品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。

2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時 から 16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時 から 17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時 から 21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもお提出ください。

なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出 いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。

その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

薬品名	剤型	内用・外用
アタラックス錠 10mg	錠	内用
イノソリッド配合経腸用半固形剤	袋	内用
インスリングルルギン BS 注ミリオペン「リリー」	K	外用
ウルソ顆粒 5%	g	内用
エプレレノン錠 25mg「杏林」	錠	内用
エプレレノン錠 50mg「杏林」	錠	内用
エムラパッチ	枚	外用
カルボシステインシロップ小児用 5%「トーワ」	ml	内用
カンデサルタン錠 12mg「あすか」	錠	内用
ジアゼパム錠 2「サワイ」	錠	内用
ジャカビ錠 5mg	錠	内用
ソラナックス 0.8mg 錠	錠	内用
炭カル錠 500mg「旭化成」	錠	内用
チラージン S 錠 75μg	錠	内用
ツムラ人參養榮湯エキス顆粒（TJ-108）	包	内用
デキサメタゾン眼軟膏 0.1%「ニットー」	本	内用
デシコビ配合錠 H T	錠	内用
テネリア OD 錠 20mg	錠	内用
バラシクロビル顆粒 50%「SPKK」	g	内用
バランス錠 5mg	錠	内用
ビフィスゲン散	g	内用
ピラマイド原末	g	内用
プソフェキ配合錠「SANIK」	錠	内用
フルチカゾン点鼻液 50μg「サワイ」56 噴霧	本	外用
ベムリディ錠 25mg	錠	内用
ペントキシベリンクエン酸塩錠 15mg「ツルハラ」	錠	内用
マンジャロ皮下注 5mg アテオス	K	外用
モンテルカスト細粒 4mg「DSEP」	包	内用
モンテルカストチュアブル錠 5mg「明治」	錠	内用
ユリス錠 2mg	錠	内用
リンヴォック錠 45mg	錠	内用
レパグリニド錠 0.5mg「サワイ」	錠	内用
レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05%「トーワ」	ml	内用
ワコビタール坐剤 50	個	内用

* 取り扱い中止

薬品名	内用・外用
インスリングルルギン BS 注キット「FFP」	外用
エビリファイ錠 1mg	内用
クアゼパム錠 20mg「サワイ」	内用
クロラムフェニコール膾錠 100mg「F」	外用
コンプラビン配合錠	内用
ゼローダ錠 300	内用
炭酸リチウム錠 200mg「アメル」	内用

薬品名	内用・外用
テオフィリン徐放カプセル 100mg 「サンド」	内用
ネリゾナソリューション 0.1%	外用
バルプロ酸ナトリウム SR 錠 100mg 「アメル」	内用
フェロミア顆粒 8.3%	内用
プリンペラン細粒 2%	内用
プリンペラン注射液 10mg	外用
リバスタッチパッチ 9mg	外用
ロンサーフ配合錠 T15	内用
ロンサーフ配合錠 T20	内用

令和 7 年度「在宅医療での医薬品の品質確保」 検体提出票

受付日：

受付日、受付番号は試験所で記入

薬局名			
所在地	〒		
連絡先	TEL	担当者名	

一包中の すべての 薬剤名 (商品名) ¹⁾	
調剤日	年 月 日
保管場所・ 状況	室内 ・ 保管容器 ・その他 ()
劣化が疑われ る薬剤名	
劣化が疑われ る状態	色 : 褐色 ・ 黄変 ・ その他 () 形状: 膨張 ・ その他 () 臭い: 酸敗臭 ・ その他 ()
その他	

1) 例示：プラバスタチン Na 錠 5mg 「トーワ」 バルサルタン錠 40mg 「FFP」
一包中の含有薬剤の種類・数は同一でお願いいたします